



JAとまこまい広域から贈られた新米

JAとまこまい広域が新米50kgを寄贈

JAとまこまい広域（宮田広幸代表理事組合長）の堀弘幸代表理事専務らは10月5日、町に厚真産の新米「さくら米（ななつぼし）」50kgを寄贈しました。

堀専務は「6月の日照不足で生育が懸念されましたが、良品米ができました」と、今年の作柄を説明。宮坂町長は「子どもたちに食べてもらい、お米を通じてふるさと教育の一助としたい」とお礼を述べました。新米は、町内のこども園と小・中・高校の学校給食として振る舞われました。

厚真市街地で花壇整備

町は10月6日、ボランティア協力のもとで厚真市街地の花壇整備を行いました。

冬支度には、花フレンズや商工会女性部、地域おこし協力隊農業支援員、役場職員の約40人が参加しました。参加者は、84カ所の花壇で花の苗や雑草を除去し、風に舞う落ち葉を集めてごみ袋に回収しました。



花壇の冬支度を行う商工会女性部

「ローカルリーダーズ・ミーティング2022」を開催



全国から約130人が参加した「ローカルリーダーズミーティング2022」

発足から6年を迎えた全国組織・ローカルベンチャー協議会が主催する「ローカルリーダーズ・ミーティング2022」が10月7日と8日の2日間、厚真町で開かれ、全国から参加した行政職員や民間企業、起業家など約130人が、今後の地域づくりについて意見を交わしました。

初めて地方開催されたこのイベントでは、7日に町内の視察が行われ、8日は総合福祉センター大集会室で基調講演や分科会が開かれました。

基調講演では、デジタル庁統括官の村上敬亮さんとエーゼロ株式会社代表の牧大介さんが「ローカルベンチャーからローカルインダストリーへ」をテーマに講演。また、分科会では、地域教育や地域資源ビジネスなど7班に分かれてグループ討議が行われ、各地域が抱える課題や将来の取り組みなどについて活発に議論が行われました。

町教育委員会委員に長門茂明さんを任命

任期満了に伴う町教育委員会委員に10月4日、長門茂明さん（鹿沼）が任命（再任）されました。

長門さんは、教育行政について地域との連携が強いと説明したうえで、「他市町の方から、厚真町は非常に教育熱心な地域と言われます。大人が手を掛け過ぎないようにしながら、子どもたちの自立心を育てる教育環境を作りたい」と語りました。



町教育委員会委員の長門さん



20周年記念誌を手にする宮坂町長と宮田代表理事組合長

JAとまこまい広域 20周年記念誌完成

JAとまこまい広域の宮田広幸代表理事組合長は9月20日、完成した20周年記念誌を宮坂町長に寄贈しました。

JAとまこまい広域は、平成13年2月1日に近隣の1市5町の農協が合併して設立。生産性や所得の向上などで自己資本は増強し、大型経営への融資にも対応できるようになるなど安定的な運営を続けています。記念誌は、A4版でオールカラー印刷。20年間の歩みや胆振東部地震の記録などを写真付きでまとめました。

厚真市街地で秋の交通安全運動街頭啓発

秋の交通安全運動初日の9月21日、厚真市街地で安全運転などと呼びかける街頭啓発が行われ、参加者は黄色や緑色などの旗を掲げて安全運転を呼びかけました。

町交通安全推進委員会の主催で、町内の事業所や団体、厚真高校生など約120人が参加しました。歩行者の安全確保や飲酒運転根絶などが重点目標で、参加者は沿道に並んでドライバーたちに交通安全を呼びかけました。



厚真市街地で交通安全啓発する参加者

厚真町花き部会が役場や小・中学校に花を贈る



児童の代表に花を贈る桐木部会長

厚真町花き部会（桐木洋光部会長）は9月21日、役場と町内の小・中学校4校に丹精込めて育てた切り花を贈りました。

花の寄贈は、花き栽培のPRを兼ねてコロナ禍で学校生活の制約を受けている小・中学生を花で元気づけようといわれました。同部会の会員15人が育てたカーネーションやマム（洋菊）などをフラワーアレンジメントして、花かごに飾りました。

桐木部会長は、役場に続き厚真中央小学校を訪れ、児童代表で5年生の永澤律君と前田泰知君に花を贈呈。2人が「きれいな花をありがとうございます」とお礼を述べると、桐木部会長は「私たちの花を見て、元気を出して楽しい学校生活を送ってください」と笑顔で語りかけました。

町内で婚活パーティー開催

独身男女を対象にした町農業委員会主催の婚活パーティーが10月15日と16日の2日間、町内で開かれました。

イベントは3年ぶりで、町内で農業を営む青年男性4人と女性3人が参加しました。参加者は、子育て支援住宅や宮の森こども園などを見学。総合ケアセンターでは、ハスカップジャムを作って試食しました。

参加した女性は「充実したひと時が楽しめました」と話し、男性も「いい雰囲気ですり上がることができました」と語りました。



ハスカップジャムを作る参加者たち